

二中プライド

大丈夫 自分を信じよう

小平第二中学校便り 7月号
令和4年7月1日発行
小平市立小平第二中学校
文責 校長 吉田 功

学校公式
ホームページ



耳目

期末考査も無事に終わり、1学期も残すところ3週間を切りました。梅雨が明け猛暑日が続いているため、熱中症のリスクが高まっています。そこで、体育の授業や運動部活動の活動中、登下校時においては、生徒に対してマスクを外すよう指導しています。その上で、できるだけ距離を空ける、近距離での会話を控えるといったことや、屋内や体育館等の建物内では常時換気するなどの対策を実施しています。

あと3週間ほどで夏休みになりますが、今後も感染防止対策をしっかりと行いながら教育活動を進めて参りたいと考えております。保護者や地域の皆さまのご協力・ご理解のほどよろしくお願いいたします。【副校長 西 伸一郎】

誰一人取り残されない学校づくりを目指して

校長 吉田 功

先日行われた1学期期末考査では、真剣にテスト問題に取り組む生徒たちの姿が見られました。1学期も残すところ3週間を切りました。

さて、令和3年9月、文部科学省に「不登校に関する調査研究協力者会議」が設置され、このたび、その報告書が取りまとめられました。その中では、誰一人取り残されない学校づくり、不登校傾向のある児童・生徒に関する支援ニーズの早期把握、不登校児童・生徒の多様な教育機会の確保、不登校児童・生徒の社会的自立を目指した中長期的支援が挙げられています。

かつて不登校は問題行動のように捉えられていましたが、現在では「取り巻く環境によっては、どの児童生徒にも起こり得る」「登校という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある」「不登校児童生徒の意思を十分に尊重しつつ、その状況によっては休養が必要な場合がある」と捉えられています。

当該児童生徒・保護者へのアンケート調査によると、「最初に学校に行きづらいつと感じ始めたきっかけ」について、「先生のこと」「身体の不調」「生活リズムの乱れ」「友達のこと」がそれぞれ3割程度を占めるなど、児童生徒の背景・支援ニーズの多様さが指摘されています。また、教員や学校の対応や理解不足がきっかけで不登校となった事例もあります。学校を休んでいる間の「最初のきっかけとは別の学校に行きづらくなる理由」では、「勉強が分からない」が最多であり、欠席中の学習支援の重要性が指摘されています。

本校では、この報告が出る前から校内適応教室を開設し個別学習に取り組んできました。また、今年度からは、未然防止の観点から悩みごとを相談できる「相談フォーム」を学校ホームページに設置したり、多様な教育機会確保の観点から、今月から校内適応教室の開設日を増やしたりしています。さらに、自分のペースで学習できるよう、このたびICT教材を活用したしくみを整備しました。

子供が学校を休みがちになると、当の子供を責めたり、あるいは家族や自分を責めたりし、家族関係がぎくしゃくすることがあります。何年か後に原因がわかることもあります。私もそのような子供のいる親の一人です。これをやれば大丈夫という方法は、なかなか見付かりませんが、いつか、どこかで、何らかの方法で、突破口になる糸口を見付けられたらと思っています。こうした思いを大切に、誰一人取り残されない学校づくりに取り組んでいきます。



熱中症対策について

養護教諭 平田 典子

保護者の皆さま、こんにちは。養護教諭の平田です。先週から寝苦しい日が続いており、ついに我が家でも就寝時に冷房をつけてしまいました。電力供給が心配されている昨今ではありますが、熱中症予防のためには環境にも配慮しながらの使用が必要だと日々感じております。

さて、これからの季節、今年も新型コロナウイルス感染症の予防もしっかりと行いつつ、熱中症の予防がとても大切になってきます。本校でも冷房を適宜使用し、ご家庭で用意してくださっている水筒での水分補給、場面に応じたマスクの着脱などで予防策を講じて参りたいと思います。ご家庭におかれましては、お子さまが「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とした生活習慣を身に付け、体力・免疫力を維持できるようサポートをお願いいたします。保健だより7月号に熱中症予防について掲載しておりますので、ご家庭でお子さまと一緒に読んでいただけますと幸いです。

修学旅行への取り組みについて

3学年主任 江口 清哉

「金箔～輝くウラちゃの思い出～」。実行委員が考えた修学旅行のスローガンです。「ウラちゃ」とは、北陸方面の方言で「私たち」という意味。金沢の伝統工芸の一つである金箔のように輝かしい思い出にすべく、班行動のコースを班で考えたり、クラスで話し合っ決めて考えたりしています。1日目、A組とC組は白川郷へ。B、D、E組は能登島へ向かいます。クラスごとにその場でしか見られない景色を味わいたいものです。2日目は金沢市内を班行動で見学します。

また、兼六園を現地の高校生にガイドをしてもらいながら見学します。3日目は福井恐竜博物館へ。恐竜の博物館に行くことに今からわくわくしている生徒もたくさんいます。修学旅行から帰ってきた時に、生徒の皆さんの輝かしい笑顔が見られることを願っています。頑張りましょう。



G組 3年ぶりの球技大会での活躍

G組主任 高寺 徹



6月24日、東村山市民スポーツセンターで多摩地区特別支援教育研究会(通称:多摩特研)主催の球技大会(バスケットボール大会)が行われ、G組も参加しました。3年振りにこのバスケットボール大会ができて本当に良かったと思います。

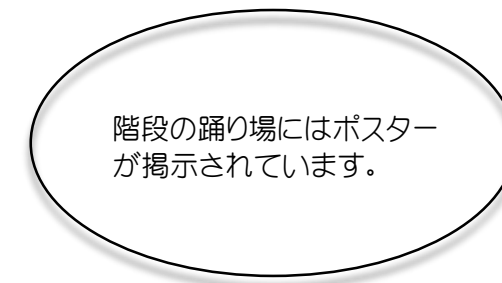
Aチームは初戦から厳しい戦いとなりました。相手校のエースのスピードと技術におされながらも、それでもみんなで守って、攻撃につなげました。結果は4-5で惜敗。それでもリーグ戦の2、3戦目ではG組のチームワークを存分に発揮して、8-0と14-0で勝利を収めました。堂々と戦い抜きAリーグ(最もレベルが高い)で準優勝を勝ち取ることができました。Bチームは素早くパスをつないでシュートを決め、接戦を勝ち抜きBリーグで優勝することができました。Cチームは運動が得意ではない生徒もいましたが、必死にボールを追いかけて、守備で相手の邪魔をしたり、一人一人が一生懸命戦っている姿を見せてくれました。

どのチームも普段以上の力を発揮していて、生徒が輝いていました。もうすぐ1学期も終わりますが、2学期もG組は行事が盛りたくさん。また頑張してほしいと思います。

2学年 校外学習の準備が進んでいます

2学年主任 岩崎 航太

6月10日(金)、「総合的な学習の時間」で鎌倉校外学習に向けての係会を行いました。2学年全員が班長・副班長・会計・学習記録・保健食事の5つに分かれて、係ごとの目標や係の学年代表(係長)を決めました。また、担当の先生からは仕事の概要の説明がされました。いよいよ校外学習の取り組みも本格化します。



二中的一日



職員室前の連絡黒板です。一日一日を大切にしてほしいという思いから、一日も欠かさずに、生徒へのメッセージを送り続けています。

June 6月

美味しいね！

今月は小平産のとうもろこしや枝豆がメニューに取り入れられていました。地元の新鮮な野菜を美味しくいただいています。



2学年



技術科では生物育成の技術について学習しています。種をまかれたポットは、家庭に持ち帰り栽培します。どんな大根ができるのか楽しみです。

朝礼挨拶

6月20日の朝礼挨拶です。朝礼や行事の校長先生のお話はこちらから文章で振り返ることができます。



G組 道徳授業

「誰にでも差別・偏見をしない」ことの大切さを学ぼうというテーマで学習しました。登場人物の発言を元に、身近に潜む差別・偏見について考えることができました。



3学年



社会科では明治初期の日本の歴史の学習を行っています。大日本帝国憲法の学習で、現日本国憲法との違いを比較しながら特徴をつかんでいました。

進路説明会

3年生を対象に第一回進路説明会を実施しました。自分の適性・関心・適性等を踏まえ、進路を選択していけるよう、日々自分事として考えていきましょう。



期末考査

6月27日から29日まで、1学期の期末考査がありました。教室では、生徒達が真剣に解答用紙に向かい合っている様子が見られました。

